

平成 16 年度 学校経営計画表

1 学校の状況

学校番号	79	学校名	県立 筑波 高等学校				課程	全日制	学校長名	赤塚 明洋						
教頭名	市村 博								事務(室)長名	市村 房司						
教職員数	教諭	29	養護教諭	1	常勤講師	5	非常勤講師	3	実習教諭, 実習指導員, 実習手配員	1	事務職員	2	技術職員等	3	計	47
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	62	95	60	108	80	94			202	297	14				
	科															
	科															

2 目指す学校像

- 1 生徒が各教科・科目や類型の適切な選択と補充指導や個別指導を通して一人一人の個性や能力の伸張を図り、確かな学力の習得及び教科指導の改善充実を図る。
- 2 他を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性と本校の教育実践目標にある正しい判断力を養い、自主的・主体的行動ができるような指導の充実を図る。
- 3 自己の進路適性理解と就業体験等を通して職業観・勤労観を育て、個々の生徒の特性等に応じた進路実現を図るとともに、生涯学習社会の変化に適切に対応できる資質能力(生きる力)をもった有用な社会人を目指し、地域に期待される生徒を育成する。

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	学習意欲の低い者も見られ,家庭学習習慣化のため放課後統一小テストに取り組んでいるがまだ不十分である。	学習指導の工夫改善を行い,適切な評価の改善をどう進めるか。
進路指導	早い時期からの進路意識の高揚がまだ十分でないが,定期的に職業選択のためのガイダンス等を実施している。	インターンシップ等への参加と勤労観職業観の育成を図れるか。
生徒指導	遅刻,服装の違反,マナー等の指導がまだ十分でないが,生徒指導処置件数は激減している。	立哨指導や学年指導を通して,規律ある生活と服装・頭髪指導をどう徹底できるか。

特別活動	生徒会や各種委員会活動が教員主導型であり，運動部活動への参加率がやや低調である。	自主的な生徒会活動及び部活動の活性化を促進できるか。
------	--	----------------------------

4 中期的目標

1	学習指導の徹底強化を図り，生徒の学習への興味関心を引き出し，きめ細かな指導を行い成績不振による中途退学者を8人以内，転学者を5名以内にする。
2	服装指導の徹底を図り，平成16年度末までには女子のルーズソックスを完全に廃止する。また，「心の教育」の充実を図り，生徒指導処置を受ける生徒を25名以内とする。
3	つくば市内にある4年制大学，短期大学との連携を強化し，特に4年制大学への進学者を20名に増加させるように進路指導を充実させる。
4	部活動への加入率25%を目指して，部活動関係施設の充実と諸費用等のバックアップ体制を充実させ部活動の活性化を図る。

5 年次ごとの目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	1 基礎学力の向上及び学習の動機付けを図る。	2 学期制により授業時数の確保に努め，小テストを利用し家庭学習の習慣付けを図る。	
	2 英語検定や漢字検定資格取得を奨励する。	英語検定・漢字検定等の意義等を理解させ，教科学習への意欲付けを行う。	
	3 適正な服装の指導充実を図る。	ルーズソックス，ピアス等の根絶について，全職員のコンセンサスと指導方法を模索する。また，学校集会時を活用し生徒の理解を得よう努める。	
	4 生徒の進路適性理解と職業観の育成に努める。	インターンシップや「進路の手引き」を活用したLHRを計画的に実施する。	
2年次	1 生徒の能力に応じたきめ細かな指導を実施し，成績不振者の減少を図る。	宿題や小テストを通し到達度を確認し，成績不振者等に対し放課後等の補充指導の充実を図る。	
	2 英語検定や漢字検定の受験指導を強化する。	英語検定・漢字検定等の受験準備を有効に活用し，教科学習の動機付けを行う。	
	3 ルーズソックスの全面禁止等服装容儀の健全化を図る。	登校時指導，巡回指導，学年集会・全校集会の指導を徹底し，度重なる違反者に対しては保護者への理解・協力を要請し，学校・家庭が協力して指導に当たる。	
	4 生徒の進路実現を促進する。	各大学，短大への積極的な働きかけ，各企業への訪問等を積極的に実施する。	
3年次	1 生徒が興味関心を持ち自発的に学習に取り組む。	評価方法を見直し，各教科の副教材等の選定及び開発の工夫改善に努める。	
	2 英語検定や漢字検定資格取得者数を増やす。	英語検定・漢字検定等の受験指導を通して，学習意欲の高揚を図る。	
	3 豊かな心と規範意識の高揚を図り，愛校心を育成する。	挨拶運動や密度の濃い学校行事を通して学校への帰属意識を深める。また，地域社会の諸団体と連携しボランティア活動等の体験的な学習を推進する。	
	4 職業人としての在り方生き方を考えさせる進路	進路講演会，進路関係教材等の利用，卒業生による体験発表等を積極的に行う。	